

## 各公民館 十五夜行事で盛り上がる

市内各公民館の十五夜行事が10月9日を中心に行われ、綱引きや相撲などで盛り上がりを見せました。

◎旭町公民館



旭町公民館では、約150名が参加し、毎年恒例となっている綱引きや相撲、抽選会などが行われました。同公民館長の揚村博郎さんは「子どもたちが少なくなって大きな綱は引けなくなった。これからは周りの公民館の方々と協力してできれば、さらに盛り上がるのでは」と語っていました。

◎小塚公民館



小塚公民館での十五夜は、毎年、手作り料理やほたちを囲み、みんなが集まる大イベントとなっています。

綱引きは50年以上続く恒例行事で、子どもたちは友達同士や大人と引いたり、楽しそうに一生懸命綱を引いていました。また、今年は初めて豪華景品の当たる抽選会が行われ「はずれくじなし」の抽選会にみんな大喜び。にぎやかな十五夜となりました。

## ブラジル ロータークラブと交流

～枕崎ロータリークラブ 会長 上木原 貴

投稿

■9月3日、市制60周年記念式典に出席するためにブラジルから来枕された19名のブラジル枕崎会の方を歓迎する「ふるさと交流会」がお魚センターで開催され、枕崎ロータリークラブからも6名が参加しました。

この席で、偶然にもブラジルのサント・アンドレ市ロータリークラブに所属する方とお会いすることができました。名前は本村巖さん（写真左から2番目）。彼の所属しているクラブは、北海道のクラブと姉妹契約しており、83歳と高齢ながら日本にもときどき来ているようです。意気投合した私たちは、バナー（旗）を交換し、お互いの活動話などで盛り上がりました。日本から一番近い国ブラジルの方とのように交流でき、貴重な体験をさせていただきました。



## シッタイだれたデ賞を受賞

～K K B ふるさとCM大賞 11月23日 放送予定

■県内市町村が作成した30秒CMを出品し競う、K K B 鹿児島放送主催による「第8回K K BふるさとCM大賞」の審査会が10月2日、鹿児島市民文化ホールで行われ、本市の作品「60（ろくじゅ〜う）」が、シッタイだれるほど面白い作品に贈られる「シッタイだれたデ賞」を受賞しました。12月から来年8月ごろまで同局においてCM50本が放送されます。

CMの内容は、1歳から70歳まで約20名に出演してもらい「元気に明るく市制60周年を迎え、これからもますます元気」ということを表現。意外なおちもありますので楽しみに！この審査会の様子は、11月23日の午前10時から放送される予定です。



## 黒島での交流から学んだこと

～別府中学校おやじの会 研修視察

■別府中学校おやじの会研修視察が9月21・22日、三島村の黒島で行われ、同会員と生徒合わせて19名が参加しました。

黒島では、「枕崎少年の船」で訪れる塩手鼻白衣観音へつなげる道の草刈いで汗を流し、夜は地元青年会と地域活動について語り合い交流を深めました。

同行した生徒たちも、片泊小・中学校の児童生徒と交流会を行いました。三島村が長年取り組んでいるジャンベで歓迎を受けたあと、ジャンベを習い、最後は合同演奏をすることで両校生徒の仲は深まりました。

同会の永留正文会長は「島の人たちの歓迎に感謝している。薬剤散布や老人遠足など、島の青年会の活動は参考になった」と話し、同行した駒水佑里恵さん（別府中2年）は「ジャンベに感動した。もっと一緒に演奏したかった。また黒島に行きたい」と二日間の感想を話してくれました。



## 公共事業の役割知って

～南薩地域振興局が金山小学校児童に出前講座

■南薩地域振興局の「子どもたちも理解できる公共事業」をテーマとした出前講座現場見学会が9月24日、金山小学校と花渡川河川敷でありました。

同校の3年生から6年生までの18人が、川がどのくらいの速さで流れているのかを計測するなど、川と人の生活の関わりについて勉強しました。



## こんなに大きく育ちました

～家庭菜園で大きなパイナップルができた

■沖園文広さん（木場町）宅の家庭菜園で、胴回り約50cmの立派なパイナップルが実りました。家庭菜園の手入れが趣味という文広さんが手塩にかけて育てたものです。

このパイナップルの木は、果物が大好きという奥さん、利子さんの職場の同僚である白沢義雄さんからいただいたもので、2年目にしてこの出来栄に大満足。

利子さんは「きつと、とっても甘くておいしいはず」と、近ごろ黄色く色付き始め、食べごろ間近になったパイナップルを見ながら、待ちきれない様子で話してくれました。



## 小原國芳先生の「学問の道」を行く

～桜山中学校2年生 学級PTAレクリエーション

■桜山中学校2年生28名と保護者ら27名が9月26日、学級PTAレクリエーションで立志記念遠行として小原國芳先生の『学問の道』を歩きました。

上竹中から出発し、奥ヶ平を越えて南さつま市坊津町久志までの約10kmの道のりを一步一步しっかりと踏みしめ、全員完歩することができました。

参加者からは「小原先生が毎日通っていた道を一日歩いただけなのにとても疲れた。この道を歩いてまで勉強していた先生のことを考えると勉強嫌いで言ってもらえない」「みんなとの思い出がまた一つできた」などの感想がありました。

また、『小原國芳先生顕彰の碑』除幕式が11月15日、桜山小学校で行われる予定です。